

「2017年度 大谷大学 文藝コンテスト」受賞作品決定！

～全国の高校生から寄せられた528作品から優秀作品を発表～

大谷大学(所在:京都市北区小山上総町/学長:木越 康)は、高校生を対象に自由な発想のエッセイや小説を募集する「2017年度 大谷大学 文藝コンテスト」を開催しました。

全国から寄せられた、エッセイ部門397作品、小説部門131作品の中から厳正なる審査の結果、優秀作品を決定しましたので発表します。

大谷大学は、社会のさまざまな場面で必要となる、高度で応用的な文章作成能力を身につけることができるように、2015年度に「文藝塾」を開設。「文藝塾講義」(正規授業)、「文藝塾セミナー」(課外授業)を開講しました。「文藝塾講義」では、作家や書くことを職業とする編集や新聞記者を招き、講義、実習を行っています。2018年4月からは現在の取り組みに加えて、文学科に「文芸コース」を新設、慶聞館に完成する文藝塾のスペースを中心として、「文藝塾」の取組みを本格稼働させます。

「大谷大学 文藝コンテスト」は、高校生に自由な発想で文章を書くことの楽しさや難しさを通して、自分の想いが他者に伝わった時の喜びを知ってもらうことを目的に2013年度より実施しています。

今回は、応募作品数がエッセイ部門397作品、小説部門131作品になりました。さて、5回目となる今年は、下記のとおり受賞作品を決定いたしましたのでお知らせします。



◇エッセイ部門

	タイトル	受賞者	
【最優秀賞】	「音楽と読書」	新潟県立長岡高等学校2年(新潟県)	齋藤 淑人さん
【優秀賞】	「幸せはいつも自分の心が決める」	東京都立国分寺高等学校3年(東京都)	長澤 いのりさん
	「緑の訪問者」	神戸市立神港橋高等学校1年(兵庫県)	内倉 一綾さん
	他 大谷文芸部賞(学生サークルである大谷文芸が選考した作品)1名、奨励賞5名		

◇小説部門

【最優秀賞】	該当者なし		
【優秀賞】	「ひと夏の記憶」	奈良県立奈良高等学校2年(奈良県)	横山 詩乃さん
	「卒業」	筑紫女学園高等学校3年(福岡県)	梁木 みのりさん
	「駆ける」	筑紫女学園高等学校1年(福岡県)	岡崎 風香さん
	他 大谷文芸部賞(学生サークルである大谷文芸が選考した作品)1名、奨励賞7名		

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学 企画課 安井・平岡 TEL:075-411-8115 FAX:075-411-8149

大谷大学広報デスク(プランニング・ポート内)福嶋・橋本・古瀬 TEL:06-4391-7156 FAX:06-4393-8216

大谷大学HP <http://www.otani.ac.jp/> 文藝コンテストHP <http://koukou-essay.jp/essay/>

「2017年度 大谷大学 文藝コンテスト」概要

- 募集期間 2017年11月1日(水)～2018年1月10日(水) ※当日消印有効
- 募集作品 ①エッセイ部門 2,000字以内(400字詰原稿用紙5枚以内)
②小説部門 8,000字以内(400字詰原稿用紙20枚以内)
※高校生の作品であること。
※テーマは両部門とも自由。
※応募者のオリジナル作品に限る。
※他のコンテストに応募した作品可。(ただし、未受賞のものに限る)
※2部門への同時応募も可能。
- 審査員 國中 治 (大谷大学 文学部文学科教授・文藝塾副長／審査委員長)
安藤 卓 (株PHP研究所常務取締役・文藝塾セミナー講師)
萩原健次郎 (詩人・文藝塾セミナー講師)
宮脇 一徳 (一般社団法人 言の葉協会 事務理事)
荒瀬克己 (大谷大学 文学部文学科教授)
村山保史 (大谷大学文学部哲学科 教授)
三浦誉史加 (大谷大学 文学部国際文化学科 准教授)
中川 眞二 (大谷大学 文学部文学科 准教授 高大連携推進室長)

大谷文芸 (学生サークル) ※一次選考を担当
- 応募総数 エッセイ部門397作品、小説部門131作品
- 賞 最優秀賞 1点 (賞状、副賞 図書カード3万円)
優秀賞 2点 (賞状、副賞 図書カード1万円)
奨励賞 若干名 (賞状)
大谷文芸部賞 1点(賞状)
- 結果発表 2018年3月9日、ホームページで発表済(作品名、氏名、所属)
※3月下旬に後日コンテストの総評、各部門の最優秀賞・優秀賞の講評等をホームページに掲載予定。
- ホームページ <http://koukou-essay.jpn.org/2017-2>
- 主催 大谷大学
- 後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会
- 協賛 一般社団法人 言の葉協会